



平成30年9月26日

各 位

上場会社名 近鉄グループホールディングス株式会社  
代表者名 取締役社長 吉田昌功  
コード番号 9041  
上場取引所 東京・名古屋（第1部）  
問合せ先 経営戦略部長 保川敏雄  
(TEL 06-6775-3427)

連結子会社（株式会社近鉄百貨店）の業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社近鉄百貨店が、平成30年4月16日に公表した平成31年2月期（平成30年3月1日～平成31年2月28日）の第2四半期累計期間および通期の業績予想を別添資料のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

なお、これによる当社の連結業績予想の修正はありません。

以 上



平成 30 年 9 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社 近 鉄 百 貨 店  
 代 表 者 名 代表取締役  
 社長執行役員 高 松 啓 二  
 (コード番号 8 2 4 4 東証第 1 部)  
 問 合 せ 先 執行役員  
 業務本部長 泉 川 邦 充  
 (TEL. 0 6 - 6 6 5 5 - 7 0 3 0)

業績予想 (連結・個別) の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 4 月 16 日に公表いたしました平成 31 年 2 月期 (平成 30 年 3 月 1 日～平成 31 年 2 月 28 日) の第 2 四半期累計期間および通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正について

(1) 第 2 四半期連結累計期間 (平成 30 年 3 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 ( A )	136,500	2,100	1,700	1,400	34.67
今 回 修 正 予 想 ( B )	139,500	2,480	2,200	1,900	47.06
増 減 額 ( B - A )	3,000	380	500	500	—
増 減 率 ( % )	2.2	18.1	29.4	35.7	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 2 月期第 2 四半期)	135,565	1,851	1,652	1,779	44.07

(2) 通期 (平成 30 年 3 月 1 日～平成 31 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 ( A )	278,000	5,000	4,300	3,600	89.16
今 回 修 正 予 想 ( B )	281,100	5,100	4,600	3,800	94.11
増 減 額 ( B - A )	3,100	100	300	200	—
増 減 率 ( % )	1.1	2.0	7.0	5.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 2 月期)	282,211	4,887	4,420	1,462	36.21

## 2. 個別業績予想数値の修正について

### (1) 第2四半期累計期間（平成30年3月1日～平成30年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	125,270	1,700	1,300	1,100	27.24
今回修正予想（B）	128,700	2,160	1,900	1,640	40.62
増減額（B－A）	3,430	460	600	540	—
増減率（％）	2.7	27.1	46.2	49.1	—
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成30年2月期第2四半期）	123,879	1,433	1,312	1,432	35.49

### (2) 通期（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	255,500	4,300	3,400	3,000	74.30
今回修正予想（B）	258,900	4,600	3,900	3,400	84.21
増減額（B－A）	3,400	300	500	400	—
増減率（％）	1.3	7.0	14.7	13.3	—
（ご参考）前期実績 （平成30年2月期）	259,319	4,012	3,488	805	19.95

## 3. 修正の理由

あべのハルカス近鉄本店が、前回発表時（平成30年4月16日）以降も、インバウンド需要のみならず、婦人洋品、食料品を中心に好調が続いていること、また、連結子会社では、(株)ジャパンフーズクリエイトの鮮魚販売が好調に推移していることから、前回発表予想を上回る見込みであります。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上